



令和6年3月号

宗教学法人 お告げのマリア修道会

聖マリア病院

●TEL:0959-72-5101

●FAX:0959-74-1771

●URL:<https://g-maria.jp/>

〒853-0052

長崎県五島市松山町 133-2



マリアの風 web

切手の値上げ

院長 山中 淳子

2024年秋に郵便料金の値上げ予定が発表されました。定形封書は110円に、ハガキは85円になる見込みとのこと。1994年以来、30年ぶりの値上げとの事ですが、値上げ幅が大きいと感じました。とっさに「益々、手紙を書く人が少なくなるのでは?」と思いました。思えば郵便というのはとてもありがたいシステムです。日本各地・世界各地へ思いを伝えてくれるのですから。途中の業務に携わる方々の手間暇は大変なものでしょう。特に配達の方のご苦労を思い図ります。暑い日も寒い日も悪天候の日でも、家々を訪ねて配達して下さるのですから。しかし最近は電子メールなるものが発達し紙の手紙は少なくなりました。確かに電子メールは便利です。切手を貼ったりポストに入れに

行ったりしなくてもいいし、相手にすぐに届いて、返信も速やかです。ですが現状の私は、あまりにたくさんの商業メールやSNSなどが届き、メールを処理できなくて未開封のものが溜まってしまい、メールチェックが面倒になっています。そしてその中に大事なメールがあり、見落としたりする有様です。

NHKの大河ドラマで現在、紫式部を主人公にした物語が放送されています。若き日の「まひろ」こと紫式部は和歌に長けていて、アルバイトで男性の恋文の代筆をする様が描かれていました。その頃は毛筆で和紙にサラサラと和歌を著したラブレター、風流極まりないことです。今はそのような風流な手紙はあまりないと思いますが、手書きの手紙を頂くと、出して下さった方の思いをジーンと感じます。切手代が高くなっても、あまりきれいな字は書けないけれど、手書きの手紙は書こうと思う今日この頃です。

院内トピックス

水彩画をいただきました

何度か当院に入院されている患者さんから、趣味である水彩画の作品をいただきました。グラバー園の洋館と、対岸に見える稲佐山の稜線や山の中腹まで続く建物、海を進む大きな船など一目で長崎と分かる光景です。いつか聖マリア病院を描きたいと言われていました。しばらくの間リハビリテーション室に飾られます。



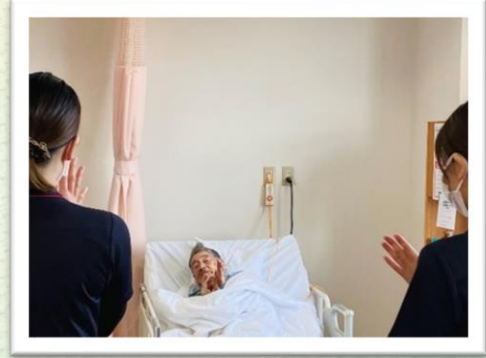
古本募金活動

SDG s 委員会では、読み終わった本を募集していましたが、この度、段ボール一箱分を『きしゃぼん』へ郵送しました。図書を捨てずにリサイクルでき、換金された分は必要な団体への寄付になります。今後とも継続していきますので、ご協力をお願いします。



リサイクル募金『きしゃぼん』は使い終わったものをリサイクル換金して寄付できる募金のシステムです。着払いで本やDVDを郵送し、査定・換金後に協働パートナーとなっている行政や学校、民間の財団などへ募金されます。現金以外の方法で、コストをかけずに募金ができるので、気軽に取り組むことができます。

ありがとうコーナー



ある方から「明日の誕生日に、お祝いの歌を歌ってほしい」と担当看護師に要望がありました。翌朝、その希望は病棟スタッフに申し送られ、病室で誕生日が祝われました。同じ日に誕生日を迎えられた方がもう一人おられたので、同じように歌を歌って祝福しました。お二人とも大変喜ばれ、感動しておられました。

聖マリア病院での研修を終えて



14時間をかけて念願のアオリイカを釣り上げた山本先生

今年度、6名の研修医が当院での研修を終えました。代表して、山本嶺王先生に五島での体験を振り返っていただきました。

五島聖マリア病院での二ヶ月の地域研修を終え、主治医として入院から退院、その後の外来そして訪問と、患者さんに今まで以上に深く関わることができました。患者さんに寄り添い、患者さんそれぞれに対してより良い医療を提供することを体験し、身につけることができました。

五島の方々は私に対してとても温かく接してください、人の温もりをすごく感じることができました。五島で研修を行うことができ、本当によかったと思っています。いつか必ず、もう一度訪問したいです。

お知らせ・病院カレンダー

- ・ 3月2日（土）午後1時～ 地域清掃活動
- ・ 3月3日（日）午前10時30分～12時
まごころひろば 於 福江修道院 ガレージ
- ・ 3月31日（日）復活祭ミサ



第6回

まごころひろば

必要としている誰かに
届きますように！

まごころひろばは、皆さんから提供された品々を定期的に無料でお渡しする活動です。いただいた募金で購入した食品や日用品も無料でお渡しします。どなたでもお越しください。お待ちしております。

衣類、タオル、洗剤等の日用品、食器、食品、子どもグッズなどいろいろなものがあります。

連絡先：makinetshimogoto@gmail.com

Instagramではお知らせ等を随時発信しています。



編集後記

2月後半から3月にかけての時期を雨水と呼ぶそうです。雪ではなく雨が降るようになる頃という意味で、厳しい寒さが和らぎはじめ、暖かい雨が雪をとかし、草木が芽吹く時期とされています。昔の人は季節や自然の移り変わりに美しい名前をつけています。春一番、菜種梅雨、啓蟄、穀雨…。感情が豊かな時代の人々は、日々の営みや美しい情景を俳句や短歌で残しましたが、個人的には俳句はハードルが高いので、まずは名前をつけてみてはどうかと思っています。今、沸き起こった感情に名前をつけ、景色をながめて名前をつける。大人の情操教育です。(編集者)